

安全に関する改善事例

記入日: 17年 9月 23日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
岩井川ダムJ	奈良県	奈良県	重力式	55.0	180.9	82,900
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	2.コンクリートダム堤体工	1. 墜落事故	1. 人的要因 2. 設備要因	4. 高所作業	有: <input type="radio"/> 無: <input checked="" type="radio"/>	

改善の概要:
 スライドフォームからの墜落転落防止対策としてスライドフォームに設置した設備。
 (1)回転式スライド足場端部留め (2)スライド作業時隣接スライド移動梯子

特許の有無
 有: 無:

メリット: (1)回転式スライド足場端部留め
 拡張リア工法を採用した小規模ダムの場合、ブロック間にリフト差が付いたり付かなかったりする場合があり、その都度足場の端部の留め(手摺)を付けたり外したりの作業が出てくる。留めを忘れた場合には、墜落転落の危険が発生する。回転式の留め(手摺)を設置する事により、簡単に設置撤去ができる事になり墜落転落事故防止に寄与した。
 (2)スライド作業時隣接スライド移動梯子
 コンクリートダム建設工事の中で上流スライドフォームのスライド作業は最も危険度の高い作業のひとつである。特に1ブロック(15M)につき5分割(3M/枚)されたスライドを順次スライドアップする際の作業員のスライド間移動が問題になる。段差のついた高所のスライド間を安全に移動できるように、あらかじめ昇降梯子を設置した。

デメリット: 特に無し。

改善前 (略図または写真) 省略

改善後 (略図または写真)

(1)回転式スライド足場端部留め



(2)スライド作業時隣接スライド移動梯子

